



君と僕 互いの力生かし合う
共同参画パートナー



登別市男女共同参画情報紙

No.11

～性別や年齢の違いを超えて、男女が平等に
そして、自分らしく生きていくために～

平成26年度男女共同参画週間事業 男女共同参画社会に向けた作品（習字）

平成11年6月23日は「男女共同参画基本法」が施行された日です。これを記念して毎年6月23日から29日までの1週間を男女共同参画週間としています。

登別市では、男女共同参画社会について家庭や学校、職場、地域で考えるきっかけとしてもらうため、標語や習字、ポスターなどで男女共同参画社会のイメージを自由に表現した作品を募集しました。

その中から、**習字の最優秀作品** を紹介します。



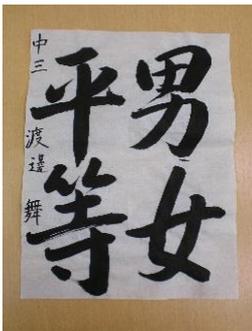
幌別西小学校 5年 今野 紗来



幌別小学校 4年 吉野 知生



幌別小学校 6年 新田 乙葉



登別中学校 渡邊 舞



登別青嶺高等学校 大友 江里花

男女共同参画社会とは

男女共同参画社会とは、「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」です。（男女共同参画基本法第2条）

※「アンダンテ」のネーミングについて

音楽記号の一つにある「アンダンテ」は、「歩くくらいの速さで、ゆっくり演奏」という意味です。男女共同参画の理解や取り組みが「じっくりと自分のペースで進むように」という期待を込め、名付けました。

男女共同参画フォーラム2014を開催しました



日 時：平成26年11月30日（日）13時00分～15時00分
会 場：登別市民会館 中ホール
テ ー マ：女性の参加で変わる政治：政策決定過程に女性が必要な理由
講 師：相内 眞子 氏（北翔大学前学長・名誉教授）

～相内眞子先生の講演より～

日本の女性の政治的進出はまだ進んでいるとはいえず、議会の女性比率も低いのが現状です。

なぜ政策決定の場に女性は少ないのでしょうか？

その原因と問題点を掘り下げ、さらに女性を増やすにはどうしたらよいかのヒントについて他国の現状と比較し、事例を中心にご紹介いただきました。

- 男性と女性の政治スタイルの違いによって政治が変わる。
- 女性の方が個人の利益より全体の利益を優先する。
- 女性がリーダーとなった場合、超党派的な立場をとり、合意の形成を優先させ、同僚とのチームワークや市民とのコミュニケーションを重視する。



～男女共同参画フォーラム2014アンケートより～

- ◆国会議員の女性比率が増えたのと、日本の政権交代が影響していることに面白味を感じた。
- ◆女性の出番をもっともっと増やしていきましょう。
- ◆よりよく生活を変えていくために、政治に関心を持たなくてはならないと思いますが、風土としてなのか、政治に関心を持たないことを良しとする傾向が強いと思います。

男女共同参画作品展・表彰式

登別市では、男女共同参画のイメージを自由に表現した作品を募集しました。今年度で5回目の開催となり、標語308作品、習字762作品、ポスター20作品と多くの応募がありました。なお、作品は、6月23日から29日までの男女共同参画週間期間中、登別市民会館に展示しました。

さらに、11月30日の「男女共同参画フォーラム2014」の席上で表彰式を行い、保護者、学校関係者の方々と共に入賞者をたたえました。

男女共同参画作品展 (6/23～6/29)



市民団体活動報告

【のぼりべつ男女平等参画懇話会】

社会や暮らしの中で性差によって「何かおかしい」と感じたことはありませんか。男女が平等に共生していける社会を築きたいと考え、学びながらそれを力に月に一度の例会、講演会の開催、会誌の発行、他団体との意見交換会などの活動を行っております。

今年度は5月4日（日）に谷口真由美氏を招いて「この人に聞きたい～おばちゃん目線はなぜ重要か」と題してセミナーを開催しました。

問合せ 83-6633渡部

【プラタナス】

三市合同研修会に参加の有志が集まって、1ヶ月に1回の定例会を持ち、情報交換や講演会を開催する等の活動をしています。

今年度は11月29日（土）に市民会館において、「男女共同参画社会づくりについて～トーゴ共和国（アフリカ）と室蘭市・登別市に住んで感じたこと～」をテーマで、フォーラムを開催しました。

入会しませんか？お待ちしております。

問合せ 85-7845安達

日本女性会議2014札幌に参加研修を実施しました!!

登別市男女共同参画社会づくり推進会議は、今年度の男女共同参画社会の実現のための普及啓発活動事業として、協働する市民団体と共に、男女共同参画社会の実現に向けての課題解決策を探ることや参加者交流推進や情報ネットワーク化を図ることを目的とした札幌市主催「日本女性会議2014札幌」に参加研修を実施しました（26.10.17及び18日の2日間：札幌コンベンションセンター）。

男女共同参画社会の実現を目的に様々な世代や立場の方々が結集し、貴重な講演や各分科会で学び合い、最後に参加者全員で男女共同参画社会の実現への意思表示として「大会宣言」を行いました。本研修参加により、登別市の男女共同参画社会づくりの更なる推進に向けての意識啓発となりました。



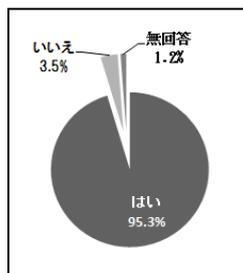
小学4年生向け啓発冊子「男らしく？女らしく？自分らしく！」アンケート結果

市では、平成16年度から、男女共同参画啓発冊子を配布、平成17年度からは保護者へのアンケートにもご協力をお願いしています。このアンケートは、身体的な特徴の違いが表れ、子育てでも男の子・女の子を区別・意識する時期である小学4年生児童を対象に実施しています。アンケートにご協力いただきました児童の皆さん、保護者の皆さん、ありがとうございました。

児童向けジェンダーチェック結果 ※ 回収率 67.5%（前年度回収率81.0%）

- リーダーは男子でも女子でもいいなと思う。

とう	平成 26 年度(%)	平成 25 年度(%)
はい	95.3	89.4
いいえ	3.5	9.8
無回答	1.2	0.8
計	100.0	100.0



ジェンダーチェック結果より

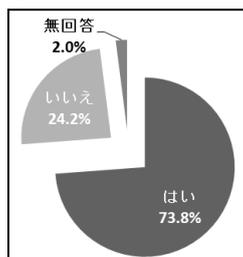
- ・設問に対し、共通して「男・女」を意識させない感覚を芽生えさせてきていると、うかがえます。
- ・今、子供たちが受け取る「情報」は、時として良くも悪くもなります。ですから保護者の考え方が影響することを認識し、男女共同参画社会づくりの糧としたいものです。

保護者向けアンケート結果

※ 回収率 39.0%（前年度回収率43.8%）

- ジェンダーについてお子さんと話しましたか？

	平成 26 年度(%)	平成 25 年度(%)
はい	73.8	67.2
いいえ	24.2	29.3
無回答	2.0	3.5
計	100.0	100.0



保護者アンケート結果より

- ・本アンケートにご回答をいただいたのは39%でした。今後についても、多くの回答を促すところです。
- ・「男女共同参画社会」への認識は定着してきた傾向にありますが、関心度は30%程度で、活動の積極的な展開が必至と意識させられました。

- 冊子をご覧になって、どのような感想を持たれましたか？

- ・男だから女だからあまり関係がないかもしれませんが、まだまだ社会的にそういう風潮にあるのが問題だと思えます。
- ・性別にかかわらず、男女がそれぞれの個性と能力を發揮できる社会になってほしいと思えます。
- ・身近にサッカーや野球をしている女子がいるし、ランドセルの色や服の色も昔より今の方が男女の決めつけがないし、世の中が段々とジェンダーフリーになってきているように感じます。

男女共同参画出前講座

市では、男女が共に助け合う社会の実現を目指し、登別市男女共同参画実施計画の一環として、男性に料理を学んでもらう出前講座を開催しました。2月14日(土)に登別市婦人センターにおいて、登別地区連合町内会の住民16名が参加されました。



- ・男性料理教室～大根としめじのカレー、おからサラダを作りました。
- ・女性との懇談～市の男女共同参画社会づくり推進事業の情報提供と意見交換を行いました。
- ・食事会～みんなで美味しくいただきました。
- ・紙芝居「オレのパンツどこ？」～地域の方による熱演に「これって〇〇のこと？」「今後、変ります！」
- ・意見交換会～料理を通して様々な意見をいただきました。
～ これからも継続的な取り組みとして地域へ伺いますので、ぜひ、ご参加ください。～

デートDVを知っていますか？

ドメスティック・バイオレンス（DV）とは、配偶者やパートナーなど親密な間柄で起こる暴力のこと。特に、学生などの若者が、交際相手からふるわれる暴力のことを「デートDV」と呼んでいます。どんな事情があっても、暴力は、決して許される行為ではありません。好きな人と仲良くいるために、デートDVのことを知ってください。

これがデートDVです

殴る・けるなど身体に対する暴力だけが、デートDVではありません。相手を自分の思いどおりに支配（コントロール）しようとする態度や行動、これがデートDVです。

身体的暴力

殴る、ける、髪のを引っ張る、腕などを強くつかむなど

精神的暴力

怒鳴る、バカにしたり傷つく言葉を言う、携帯電話をチェックするなど

性的暴力

キスや性行為を強要する、避妊に協力しない、わいせつな写真や動画を無理やり見せる など

経済的暴力

借りたお金を返さない、デート費用をいつも払わせる など



デートDVに悩んだら？

あなたが悩んでいたら・・・ひとりで悩まず相談する

ひとりで問題を抱え込み、悩んでいると、ますますつらく苦しくなってしまいます。親、友達、先生など、信頼できる身近な人に相談しましょう。

友達が悩んでいたら・・・話をじっくり聞く

まずは、「何か困っていることはない？」などと、友達に声をかけてあげてください。そして、友達を批判せず、話を最後まで聞いてください。

相談にのってくれる機関があります

(秘密は守られます)

【北海道立女性相談援助センター】

☎ 011-666-9955

(平日 9:00~17:00 水のみ 17:30~20:00も可)

【女性の人権ホットライン】 → 男性も相談できます

☎ 0570-070-810 (平日 8:30~17:15)

※ 緊急時は110番通報するか、最寄りの警察署または交番に助けを求めてください。(24時間対応)

ひとりで悩んでいませんか？ ～気軽に相談してください。～

相談内容	相談機関	電話番号
 配偶者暴力に関する相談	配偶者暴力相談支援センター (胆振総合振興局内)	22-5286
	登別市市民サービスグループ	85-2139
 児童虐待に関する相談	児童相談所全国共通ダイヤル	0570-064-000
	登別市子ども虐待相談室	85-6677
 いじめに関する相談	24時間いじめ相談ダイヤル	0570-0-78310
	登別市いじめ・教育相談室 (登別市教育委員会内)	85-0085

編集後記

- ★男女共同参画に参加して学ぶことが多々ありました。学んだ事を機会ある毎に皆様に伝えていきたいと思えます。(H・M)
- ★この活動に参加できとても勉強になりました。男女共同参画という社会が少しずつではありますが浸透してきたと感じました。(Y・C)

あなたの声をお聞かせください

このアンダンテは、企画、原稿づくりなどを男女共同参画社会づくり推進会議委員がボランティアで作成しております。本誌への感想をはじめ、今後取り上げてほしいこと、あなたの率直なご意見、ご要望をお待ちしております。

問い合わせ先

登別市市民生活部市民サービスグループ 〒059-8701 登別市中央町6丁目11番地
TEL: 0143(85)2139 FAX: 0143(85)7674 E-mail: simin_danjyo@city.noboribetsu.lg.jp
登別市男女共同参画情報紙「アンダンテ」第11号 発行日:平成27年3月
企画・編集:登別市男女共同参画社会づくり推進会議
アンダンテ企画・編集委員(千葉(早)、田淵、丸、南部、千葉(洋)、佐藤、浜飯、鳴海)
登別市ホームページ <http://www.city.noboribetsu.lg.jp>